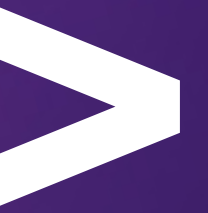


COMPANY
GUIDE

会社案内

>
accenture



テクノロジーと 人間の創意工夫で まだ見ぬ未来を実現する

お客様が全社変革に踏み出すとき、
パートナーとして選ばれる存在であること。

そして、AI時代の最前線でおお客様の成長に全力を注ぎ、
変革を推進する人材にとって最高の職場であること。

それが、アクセンチュアの目指す姿です。

変革を力に変え 日本を元気にするために

アクセンチュア株式会社
代表取締役社長

濱岡 大



今、日本企業を取り巻く環境は、大きな転換点を迎えています。少子高齢化による国内市場の縮小、地政学リスクによるコスト構造の変化、そしてAIをはじめとするテクノロジーの急速な進化。これまで積み重ねてきた成功モデルだけでは、変化のスピードに追随するのが難しい時代となりました。その結果、日本企業のグローバル市場における存在感はかつての輝きを失い、世界に大きなインパクトを与えるイノベーションも生まれづらい状況にあります。

一方で、この変化は日本企業にとって大きなチャンスでもあります。人手不足への対応、意思決定のスピード、

部門ごとの分断の解消、生産性の向上など、従来対応しきれていなかった様々なビジネス課題に真正面から向き合い、事業や組織のあり方を抜本から見直す絶好の機会が訪れています。

そして、お客様企業が取り組むこうした変革を、構想から成果創出まで確実にご支援できるよう、アクセンチュア自身も大胆な変革を進めています。

今、コンサルタントに求められる役割は大きく変化しています。常態化する変化を機敏に捉え、それを経営戦略へと落とし込み、その実現に必要な業務・組織の設計を即時に行い、実行から成果までを迅速かつ確実にやり切る。

そうした力が求められています。変革は、ビジネス価値を創出してこそ初めて意味を持つ——。アクセンチュアは、この信念のもと、お客様企業の変革に最後まで伴走し、持続的な成長と新たな価値創出の実現を支援していきます。

日本、そして日本企業の持つ可能性は無限です。世界に誇る技術力、高い専門性を備えた人材、長年培われてきた文化や価値観。その一つひとつが、これからの時代の新たな競争力となるはずです。

アクセンチュアの使命は、変化を恐れず前に進もうとする企業の変革パートナーとして、その挑戦を支え、企業

変革を通じて社会全体の活力を生み出すことです。一社一社の変革が、新たなビジネス価値を創出し、その積み重ねが日本の競争力を高め、未来を動かす力になる。私たちはその想いを胸に、お客様とともに挑戦を続け、新たな価値を創造し続けていきます。

Contents

- 04 社長メッセージ
- 06 アクセンチュアの変革力
- 08 Reinvention Partners
- 10 AI時代の全社変革
- 12 協業パートナー
- 14 グローバルネットワーク
- 16 人材への投資
- 18 社会貢献活動
- 20 国内ネットワーク
- 21 変わり続けるアクセンチュアの軌跡
- 22 外部評価・受賞歴
- 23 会社概要

アクセントチュアが大切にしている3つの価値

価値・成果へのこだわり

アクセントチュアが大切にしているのは、お客様の目の前の課題に応えるだけでなく、その先にある本質的な価値と成果を実現することです。お客様の事業、組織、現場を深く理解し、何が真の事業成長につながるのか、どのような変革が持続的な競争力を生み出すのかを考え抜く。その姿勢こそが、アクセントチュアの考えるクライアントファーストです。

その実現には、率直な対話が欠かせません。お客様の考えを尊重しながらも、より大きな成果につながる選択肢があるのであれば、異なる視点や新たな道筋を提示することもあります。自社ビジネス / 業界に精通しているお客様に、他業界の先進事例をご紹介できることも、多種多様な業界で培った知見や実績を持つ我々ならではの強みだと考えています。互いに議論を重ね、同じ方向を向いて実現すべき価値を磨き上げることで、提案の質も、変革成功の確度も高まっていきます。

さらに、私たちは構想や提案だけで終わらせることなく、立案から実装、運用、定着まで、成果創出にコミットすることで、お客様の変革を確かな価値へとつなげていきます。お客様を深く理解し、ともに考え、価値・成果の創出を実現できるまで、責任を持って伴走する。それが、アクセントチュアです。



成果実現までのスピード

今の時代「スピード」そのものが競争優位性であり、ビジネス価値になり得ます。重要なのは、検討や議論にとどまる状態から、実践し、学び、成果を創出するまでの時間をいかに短縮できるかです。

市場環境やテクノロジーが日々変化するなかで、計画の精緻化に時間をかけすぎれば、実行に移す頃には前提条件そのものが変わってしまうこともあります。一方で、スピーディーに進めることができれば、次の改革にもいち早く着手でき、限られた時間のなかで創出できる価値は飛躍的に大きくなります。

スピード感を持って変革するために、我々が考える有効なアプローチの一つは、最初から完璧な答えを追求するのではなく、小さく始めて早く動き、状況に応じて柔軟に軌道修正していくことです。

従来のように数年をかけて、順を追って工程をつないでいくアプローチだけではなく、必要な専門人材を早期に結集し、部門を越えて情報を共有しながら、並行して変革を進める。そうすることで、短期間で成果創出までを実現することができます。アクセントチュアは、あらゆる変革に必要な人材、知見、テクノロジー、そして実践的な方法論を備えています。それらを最適に組み合わせ、迅速に実行へ移し、成果創出まで責任を持って推進することで、お客様の変革を加速させます。

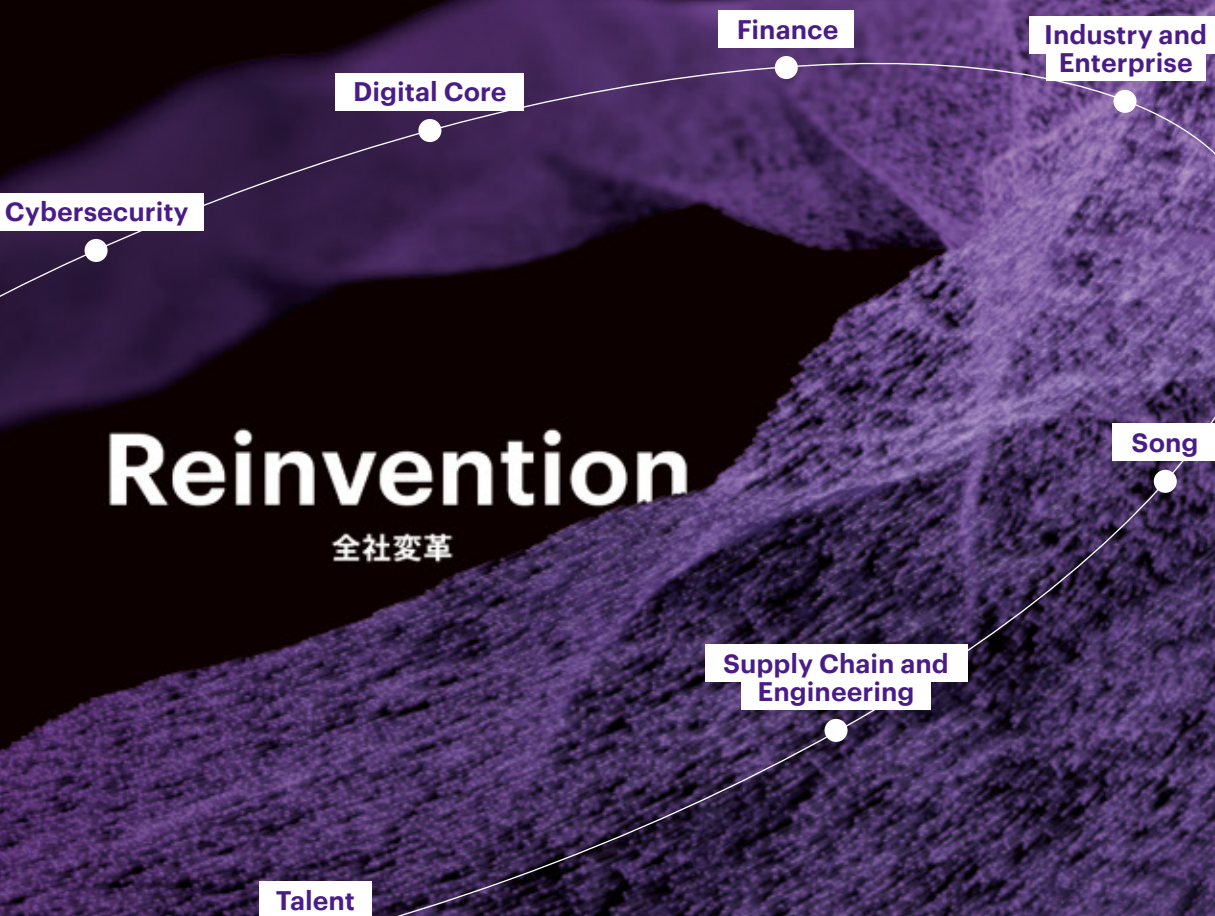


次の成長を切り拓く チャレンジ

大胆な成長を実現するためには、新たな事業やサービスの創出、新市場への参入、従来とは異なる運用モデルの実現や収益モデルの導入など、未知の領域へ果敢に踏み出すチャレンジが欠かせません。もちろん不確実性の高い新たな領域では、想定外の課題に直面し、当初の計画どおりに進まないこともあります。期待した成果が得られず、方向転換を迫られる場面もあるでしょう。しかし、それは決して失敗ではありません。挑戦の過程で得られる学びこそが、次の成長につながる貴重な資産です。それでも、果敢に挑戦するなかで見えてきた課題を一つひとつ解きほぐし、素早く行動し、素早く学び、次の一手につなげていくことが、変革を前に進める力になります。失敗や計画との差分を恐れるのではなく、そこから学び、より良い形に磨き上げていく。その積み重ねが、組織と人の未来を形づくる、我々はそう確信しています。そして常に万全のご支援ができるよう、アクセントチュアはお客様とともに挑戦しながら、自らも大胆に変え、チャレンジし続けていきます。

お客様の全社変革を実現する 7つの変革パートナー

アクセンチュアの総力を結集し、お客様の全社変革を実現する Reinvention Services。これを支えるのが、7つの専門領域からなる「Reinvention Partners」体制です。CxO（CEO、CSO、CIO などの経営層）が各々有する経営アジェンダに対して、戦略・テクノロジー・業務変革の全機能が一体となって動きます。お客様の抱える経営アジェンダや実現すべきビジネス価値に応じて、必要なリソースを組み合わせ「お客様に最適化したチーム」を迅速に編成することが可能となりました。7つの専門領域ごとに、あるいは複数の専門領域が一体となって支援を行うことで、スピード感と一貫性を持ってお客様の Reinvention（全社変革）を実現します。



Cybersecurity

信頼性を高めるための防御、企業価値の保護、リスクの管理、そして新しいテクノロジーの活用を通じて、お客様のサイバー・レジリエンスと企業変革を支援します。

信頼を守る

セキュリティ戦略

リスク管理

サイバーセキュリティ

Digital Core

生成AI時代におけるデジタル基盤を再定義し、生成AI/デジタル戦略、データ&AI、アプリケーション開発、インフラ・クラウド、マネージドサービスなど、お客様のあらゆるレイヤーの変革を包括的に支援します。

デジタル基盤をつくる

AIデータ基盤構築

テクノロジー戦略

AIを活用したシステム刷新

Finance

財務部門の高度化と経営判断力の強化を支援します。CFOのアジェンダに沿い、企業活動を可視化・分析・ベンチマークすることで、企業価値の最大化と持続的な財務パフォーマンスを実現します。

経営管理の高度化

データ駆動型経営の実現

コーポレートファイナンス・M&A

財務・経理基盤の刷新

Industry and Enterprise

業界ごとの深い知見をもとに、企業の中核となるバリューチェーン全体の進化を支援します。部門横断・全社規模での取り組みを通じ、持続的な成長と長期的な価値創出を実現します。

事業を変える

バリューチェーン変革

事業・業界再編

CEOアドバイザリー

Song

圧倒的なスピードでお客様のビジネス成長を実現。マーケティング、セールス、カスタマーサービス、コマース、プロダクト開発を横断し、変革を推進。トップタレントとテクノロジー、豊富なグローバル実績を結集したチームです。

顧客体験を変える

売上の向上

収益性の向上

企業価値の向上

Supply Chain and Engineering

Physical AIやデジタル技術を活用し、サプライチェーン全体の競争力、製品やサービスの上市スピード、設備・施設立ち上げの実行力を高めます。より強靱で生産性が高く、安全な事業運営の実現を支援します。

ものづくりを変える

バリューチェーン構造改革

研究開発・エンジニアリング改革

生産・物流オペレーション改革

Talent

人材・組織・テクノロジーを融合し、企業価値の変革を実現します。リーダーシップ、人材戦略、組織設計、変革推進を通じた持続的な成長とともに、データに基づく人事変革も支援します。

人と組織を変える

人材パフォーマンス最大化

AI時代の人事機能変革

従業員体験・エンゲージメント

アクセンチュアが 実装力で導く AI時代の全社変革

AIの進化により、コンサルティングのあり方そのものが問い直されています。AI時代に求められるのは、これまでのように企業戦略を描くことや、システムの導入支援などにとどまらず、お客様の課題を理解し成果が出るまで実行するという一貫通貫の支援。戦略構想から業務変革、システム実装、オペレーションまでを全社規模で担えることこそ、アクセンチュアの最大の強みです。だからこそ、お客様企業がAI時代のReinvention(全社変革)をやり切り、確実に成果を得ることに、とことんこだわります。

そのために、アクセンチュア自身の変革も進めています。

企業の未来を導く“変革”

AIの急激な進化によってビジネスの常識は劇的に変わり、AIを活用した企業成長への期待が高まっています。日本でも多くの企業がAI導入を進めているものの、AI活用がPoCや一部の業務効率化にとどまり、全社の意思決定や業務プロセスの再設計——すなわちReinvention(全社変革)にまで至らず、結果としてビジネス成果の実現につながっていないケースが多く存在します。

アクセンチュアが考えるAIによる全社変革とは、①現場でのオペレーション、②経営層の意思決定・戦略策定、③市場／顧客のデジタルツイン化を包含し、それらを支えるAI・データ基盤構築と、社員が日常的に生成AIを使いこなすカルチャーを整えることです。すべての企業活動をAIと協働させることで、企業が持つ本来のポテンシャルを最大限に引き出すことができます。

実装型ビジネスパートナーとしての伴走力・やり切る力

AI導入の課題の一つに、エコシステムの複雑化やビジネス環境の絶え間ない変化により、「誰に頼めばいいかわからない」「AI活用の正解がわからない」といった混乱があります。革新的な技術を発表して紙面を躍らせるAIプレイヤーが次々と現れ、その数も、進化のスピードも増していく一方です。こうした優れたテクノロジーの力を企業全体の変革へとつなげるには、経営課題を起点に目指すべき経営目標を立て、必要な技術を見極め、業務・データ・組織・人材まで含めて一つの変革ストーリーとして設計し、成果を出すことが重要です。

アクセンチュアは、各AIプレイヤーとのパートナーシップがあり、最先端の技術をお客様にお届けすることができます。さらに、業界や業務の知見を持ったコンサルタント、AIやデータの専門家、エンジニアが三位一体となる体制を組み、課題定義から実装、現場定着までを一貫通貫で推進。特定フェーズの支援にとどまらない、全社規模の大きな成果にコミットし、変革をやり切ることができます。アクセンチュアは、AI導入の支援者ではなく、AIによる企業変革を成果に変える実装型ビジネスパートナーです。

お客様を支援し続けるため、自らも変革し続ける

現代において、お客様の全社変革を支援し続けるための最適な形とは何か？アクセンチュアはそれを模索し、体現できるよう、自社の体制も変革を続けています。2026年3月に行った組織再編では、CxO(CEO、CSO、CIOなどの経営層)ごとの課題を起点として、戦略・テクノロジー・業務変革の全機能が同じチームで動く「Reinvention Partners」体制への刷新を行いました。これによって、お客様の経営課題解決を起点として、より直接的な支援ができる体制となりました。

また、アクセンチュアは人材育成にも注力しています。AIの知識、業務プロセス、データ、セキュリティなどの専門スキルに加え、実プロジェクトを通じて短期で成果を出す実装力を磨く。この両輪によって、企業変革を確実に実現できる人材を、組織的に育成しています。AI時代に求められるスピードや複雑性への対応力を上げるべく、日々の業務においても生成AIの活用を推進し、生産性向上や意思決定の高度化など、働き方の変革に取り組んでいます。

最先端テクノロジーを 最短距離でビジネス成果へ

グローバルパートナーと描く 変革の未来

アクセンチュアは、世界の最先端テクノロジー技術をベスト・オブ・ブリードの視点で組み合わせてお客様に提供できる、数少ない企業です。伝統的なビジネスソリューション提供企業から先進AI企業まで、各領域をリードする幅広いパートナーと、常にグローバルレベルで強固な関係を構築しています。

さらに、これらの最先端テクノロジーをアクセンチュアの豊富な実績に基づく変革推進力と融合させることで、お客様にとって最適な提案をいたします。全社変革の成果創出を目指し、責任を持って伴走します。

変革の実現を支える 協業パートナー

事業を支える基盤から、事業を変革する先端技術まで。
各領域をリードするパートナーと連携しています。

次世代を切り拓く
AI・Data パートナー

ANTHROPIC

 databricks

 NVIDIA

OpenAI

 Palantir

 snowflake

エンタープライズを支える
エコシステムパートナー

Adobe

aws

Google Cloud

IBM

 Microsoft

ORACLE

 salesforce

SAP

servicenow

workday

パートナーアワードが示す 信頼と実績

世界的パートナーとの協業実績が評価され、
数々のアワードを受賞いたしました。

- ・ SAP AWARD OF EXCELLENCE
- ・ Salesforce Japan Partner Award
- ・ Oracle Japan Award
- ・ Adobe Digital Experience Partner of the Year

- ・ Microsoft Japan Partner of the Year
- ・ AWS Partner Awards
- ・ Google Cloud Partner of the Year
- ・ ServiceNow Partner Awards

など

世界中の知見を変革の力に

アクセンチュアは、世界中に広がるプロフェッショナルネットワークと先進事例、そして最先端のテクノロジーを結集し、お客様の変革を支援しています。

海外で生まれた成功モデルを日本市場に適応し、必要に応じて各国の専門家が一つのチームとして参画することも。国や組織の壁を越えて知見をつなぎ、構想から実装、その先の定着までを一貫して伴走します。

私たちが提供するの、単なるグローバルな規模ではありません。世界中で蓄積された経験や知見を、お客様の変革を前に進める力へと変えること。世界とつながることで、変革はもっと速く、もっと確かなものになる。

それが、アクセンチュアのグローバルネットワークです。

アメリカ市場
America

ヨーロッパ・中東市場
EMEA

日本市場
Japan

アジア・オセアニア市場
Asia Oceania

日本企業が手にする 世界基準の変革力

世界中の成功事例を いち早く活用

世界各地で生まれる先進事例や知見を、日本企業の課題や市場環境に合わせて活用。

ゼロから試行錯誤を繰り返すのではなく、実証された知見を起点に変革を加速します。

世界一流の 専門家が伴走

AI、サイバーセキュリティ、クラウドなど、多様な領域の専門家が世界中から参画。領域を越えて知見と技術を結集し、前例のない課題や高度で複雑なテーマにも、最適なチームで解決に挑みます。

グローバルで 一貫した品質を実現

世界共通の方法論とプロジェクト運営のもと、各市場の特性やニーズを的確に捉え、国や地域をまたぐ変革を一貫して支援。スピードとガバナンス、そして品質の両立を実現します。

イノベーションを生み出す エコシステム

世界有数のテクノロジー企業やスタートアップとの連携を生かし、最新のイノベーションに迅速にアクセス。変化の激しい時代において、新たな成長機会をともに創出します。



人材を育て、仲間を迎える アクセンチュアが体現する 終わりのない進化

変革に必要な専門性に、限界はありません。アクセンチュアは、全社員への継続的な教育を通じて個のスキルを極限まで高めながら、独自の専門性を持つ企業を V&A によって積極的に迎え入れています。「自社人材の強化」と「外部知見との融合」。この両輪を回し、私たちは進化し続けます。

私たちの商品とは、人そのもの だからこそ、人材教育に本気で挑む

ものづくりの企業が研究開発に投資するように、アクセンチュアは人の教育に非常に力を入れています。私たちにとっての商品とは、コンサルタントやエンジニアといった私たち自身、すなわち「人材」そのものだからです。お客様のもとへ向かう一人ひとりが最新の知識とスキルを携えていること。それがお客様に安心して変革を任せていただくための基盤だと信じています。

その想いは、数字にも表れています。全世界の社員のトレーニングへの投資は、年間10億ドル(約1,500億円)超、時間にすればおよそ4,700万時間にのぼります。職種を問わず全社員が受けるオンライン研修「TQ (Technology Quotient)」に加え、近年はAIエージェントを誰もが扱える共通言語とするワークショップにも取り組んでいます。学ぶだけで終わらず、社員一人ひ

とりが自ら AI を形にし、日々の仕事で使いこなす段階へと進んでいます。

また、AI時代の最前線を走るパートナー企業と直接手を組み、その知見を学ぶ共同カリキュラムを、世界に先駆けて日本企業のお客様にもお届けしています。そして、技術や知見をお渡しして終わり、とは考えていません。お客様の組織のなかに、変革を自ら率いる人を育てる。私たちが去ったあとお客様が歩み続けられるように、チェンジマネジメントまでを含めて伴走します。今日の「最新」が明日には塗り替えられていく時代。

だからこそ私たちは、常に学び続けます。

私たちが V&A で迎え入れるのは 企業ではなく、未来をつくる新しい力

変革に求められる専門性は、時代とともに変化します。アクセンチュアは世界中の卓越した企業・人材を迎え入れる V&A (Ventures & Acquisitions※) を、成長戦略の柱に据えています。目指すのは規模の拡大ではなく、最先端技術や新たな能力の獲得。異なる技術や知見、そして文化への敬意を礎に、迎え入れた一つひとつの力を結びつけ、これまでにないケイパビリティへと昇華させてきました。未来に必要な力を、未来が訪れる前に。世界中の知見と人材を紡ぎ、お客様の変革へと還元し続ける ― V&A は、変化の最前線に立ち続けるための、アクセンチュアの成長投資です。

※Ventures & Acquisitions (ベンチャーズ&アクイジションズ) : アクセンチュアでは、一般的な企業買収 (M&A) という言葉ではなく、V&A という言葉を使用しています。会社としての新たな力を築いていくために、最先端技術や新しい能力に積極投資をしていくという考えを象徴しています。

V&A 実績と強化ケイパビリティ (2021年~)

2021	
株式会社アイ・エム・ジェイ	デジタルマーケティング
株式会社ビジネットシステム	Salesforce系eコマース構築
株式会社ディアイスクエア「DI Futures」事業	PLM/ALM 導入コンサル
株式会社タンバリン	Salesforce系eコマース
2022	
トランコム ITS 株式会社	次世代物流
株式会社 ALBERT	データサイエンス
2023	
株式会社シグナル	PR 起点の統合マーケティング
2024	
株式会社クライム	システム開発
株式会社オープンストリーム HD	クラウド/AI/IoT/製造・物流
2025	
株式会社ゆめみ	デザインエンジニアリング
株式会社 SI&C	SIを中心としたITサービス
株式会社アイデミー	AI/DX人材育成

Learning to Earningで 人の可能性を社会の力に

Learning to Earning — 社会で自立し、活躍するためのスキル習得

アクセンチュアは、世界共通のテーマ「Learning to Earning」のもと、一人ひとりが社会で自立し、就労や起業という確かな実りをつかむためのスキルを育む取り組みを進めています。本業で培ったテクノロジーやコンサルティングの知見を生かし、多様なパートナーと連携しながら、次世代の人材育成や就業支援、障がいのある方の就労・経済的自立、地域・復興支援などを推進しています。スキルを一時の習得で終わらせず、就労や起業という確かな実りへ。2025年は日本全国で13.7万人以上の方々が、社会で活躍するための実践力を身につけました。その一端をご紹介します。



事例 1 STEAM教育 社会課題に挑む次世代を育む

日本全国に実践的なSTEAM教育を届けるため、「生成AI講座」や「データサイエンス講座」などのプログラムを展開。中高生や大学生など幅広い世代に、実社会で通用するスキルを習得する機会を提供しています。STEAMの知識・技能の習得にとどまらず、課題解決力やコミュニケーション力、そして「答えのない問い」に挑む姿勢を養います。私たちが目指すのは、STEAMという確かなスキルを携え、社会課題に主体的に向き合える人材を増やすことです。2023年に開始したデータサイエンス講座は50校以上、延べ8,000人以上の中高生が受講し、未来を担う人材の育成と教育分野における社会課題の解決に貢献してきたことが評価され、文部科学省主催の「いいけんアワード」を2年連続で受賞しました。

事例 2 マイプロジェクト 探究から、行動へ。高校生の挑戦

認定NPO法人カタリバが展開する「全国高校生マイプロジェクト」は、高校生が自らの関心や問題意識を起点に、身の回り・地域などをフィールドに、探究にとどまらず実際に行動を起こすことで、社会で生きるスキルを育む取り組みです。東日本大震災を機に、2013年にわずか18人で始まった挑戦は、2025年には約11万人の高校生が集う場へと広がりました。

アクセンチュアは、本業で培った戦略立案やデータ活用などの知見を生かし、高校生の探究・実践活動を支える伴走者の育成や、発表・交流機会の拡充などを通じて、より多くの高校生が主体的に課題を発見し、就労・起業につながる実践力を育む環境づくりを支援しています。一人でも多くの高校生が、自らの手で一歩を踏み出せるよう、私たちは伴走し続けます。



事例 3 障がい者自立支援 能力と個性を、 仕事と自立につなげる

障がいのある方が、その能力や個性を生かしながら経済的に自立できる社会へ。アクセンチュアは、就労機会の創出や将来のキャリア形成など、複数の取り組みを通じて、その実現を後押ししています。

「equalto (イクォルト)」は、デザインの力で就労継続支援B型事業所のものづくりを支え、働く方々が誇りを持てる仕事と持続的な収益の仕組みを築く取り組みです。

「ableto (エブルト)」は、障がいや特性のある大学生を中心とした若年層の就業力向上を目的に、当事者と企業の双方を対象とした対話型プログラムや産学連携のキャリアイベントを実施。これまで延べ336人の就業につながる実践力の向上を支援してきました。学生たちが自己理解を深め、自らに合った働き方を見出し、社会へと踏み出す——その一歩を、実践的なスキルと伴走支援で支えています。

事例 4 地域・復興支援 人と地域とともに

被災地の復興を、一度きりの支援で終わらせない。アクセンチュアは、その土地に根を張り、本業で培った人材育成の知見を生かして、地域が自らの力で未来を描いていけるよう伴走します。それが、私たちらしい復興支援の形です。東日本大震災を機に2011年、福島・会津若松に拠点を構えて以来、地域とともに歩んできました。産学官が連携するAiCTコンソーシアムと手を携え、管理職や次世代リーダー育成を対象とした越境学習・交流型プログラム「Leadership Quest - Ignite -」を展開。地域課題の解決に取り組む実践の場を通じて、参加者は課題解決力やリーダーシップを身につけ、地域を越えた新たな縁を育んでいます。復興を一時的な支援にとどめず、事業と人材育成の両輪で、持続可能な地域づくりに貢献していきます。



日本全国の変革を支える 国内ネットワーク

日本に根を張り60年以上。東京・関西を国内の主要拠点に据えながら、地方創生や地域 DX にも積極的に投資し、全国へとネットワークを広げてきました。

国内外のつながりを最大限に生かしながら、日本企業のデジタルイノベーションを加速させ、グローバル競争力の強化に貢献しています。

1 イノベーションセンター北海道
重点領域：クラウド

2 アドバンスド・テクノロジーセンター仙台
重点領域：データ・AI

3 イノベーションセンター福島
重点領域：スマートシティ

4 アドバンスド・テクノロジーセンター前橋
重点領域：インフラ / クラウド

5 東京オフィス / 赤坂インターシティ
イノベーション・ハブ 東京
東京ソリューションセンター

6 みなとみらいオフィス

7 アドバンスド・テクノロジーセンター名古屋
重点領域：インダストリー X

8 アドバンスド・AI センター京都
重点領域：AI

9 関西オフィス
大阪ソリューションセンター

10 インテリジェント・オペレーションセンター福岡
アドバンスド・テクノロジーセンター福岡
重点領域：インテリジェント・オペレーション

11 インテリジェント・オペレーションセンター熊本
重点領域：インテリジェント・オペレーション

社会の変化を先読みし お客様の次の一手を支える

変わりゆく時代の、半歩先へ。事業開始以来、アクセンチュアは社会や産業の

変化を先読みし、そのたびに自らの姿を変え続けてきました。

だからこそ、次にどんな変化が訪れても、お客様とともに時代を切り拓き、

次の一步を踏み出せると信じています。

1962's

経営とテクノロジーをつなぐ

日本での事業開始を起点に、欧米で培った経営・ITの知見を日本企業の現場に結びつけてきました。

1962 日本での業務を開始
1989 コンサルティング部門が独立
1995 日本法人を設立

2010's

デジタルで成長を仕掛ける

デジタルは効率化の手段から、事業成長そのものをつくる力へ。アクセンチュアは、スマートシティの取り組みやデジタル領域の強化、イノベーション・ハブ東京の開設などを通じて、お客様が変化を仕掛けられるよう支援してきました。

2011 福島にイノベーションセンターを開設
2013 デジタル領域に特化した部門を設立
2014 熊本にオペレーションセンターを開設
2018 東京にイノベーション・ハブ東京を開設
2019 福岡にオペレーションセンターを開設

2000's

実行力で変革を支える

企業の競争力は、業務・システムを変える実行力に左右されるように。アクセンチュアは、デリバリー拠点やアウトソーシング体制を整え、構想から導入・運用までを支える力を強化してきました。

2001 社名を「アクセンチュア」に変更
2006 北海道にデリバリー・センターを開設
2008 関西オフィスを開設

2020's

AIで企業全体を再創造する

AIは一部業務の効率化にとどまらず、企業の戦略、業務、システム、人材などすべてを再設計する力に。アクセンチュアは、AI関連拠点、AI・データ領域の投資、各社の統合を通じて、この時代に求められる構想力と実装力を強化してきました。

2020 東京にAIセンターを開設
2023 前橋・仙台・名古屋にテクノロジーセンターを開設
2024 京都にAIセンターを開設
2025 AI時代に向けた成長モデル「Reinvention Services」を発表

世界・日本で高く評価される アクセンチュアの実績

世界第4位

Great Place To Work®
Fortune World's Best Workplaces™
(働きがいのあるグローバル企業 世界ラン
キング) で第4位に選出。4年連続リス
ト入りを果たす。

業界第1位

Fortune 誌
『世界で最も賞賛される企業』では、
20年以上連続選出。
ITサービス部門第1位。
全体第33位。

第1位

Brand Finance の
Most Valuable Brands では、
ブランド価値が423億ドルで
2%向上し、業界で第1位に選出。

第1位

FTSEのDiversity & Inclusion Indexで
は、世界で最もインクルーシブな職場づ
くりにおけるリーダーシップが評価され、
業界第1位、全体でも4年連続で第1位
に選出。

16年連続

ITの革新的な利用による
ビジネス価値の提供について
CIO 100 Awardsを受賞。

19年連続

倫理的な事業慣行をリードする企業
として、Ethisphere World の
Most Ethical Companies に選出。

スコア100

Disability:INのDisability Index (障がい
平等指数) では、調査を実施したすべての
国 (ブラジル、カナダ、ドイツ、インド、
日本、フィリピン、英国、米国) で最高ス
コアを獲得。

10年以上継続

取引規模上位200社のうち、
195社とは10年以上にわたり
長期継続しています。

受賞実績一覧



会社概要

名称

アクセンチュア株式会社 (Accenture Japan Ltd.)

創業

1962年

代表取締役会長

江川 昌史 (兼 アジアパシフィック共同 CEO)

代表取締役社長

濱岡 大

役員情報

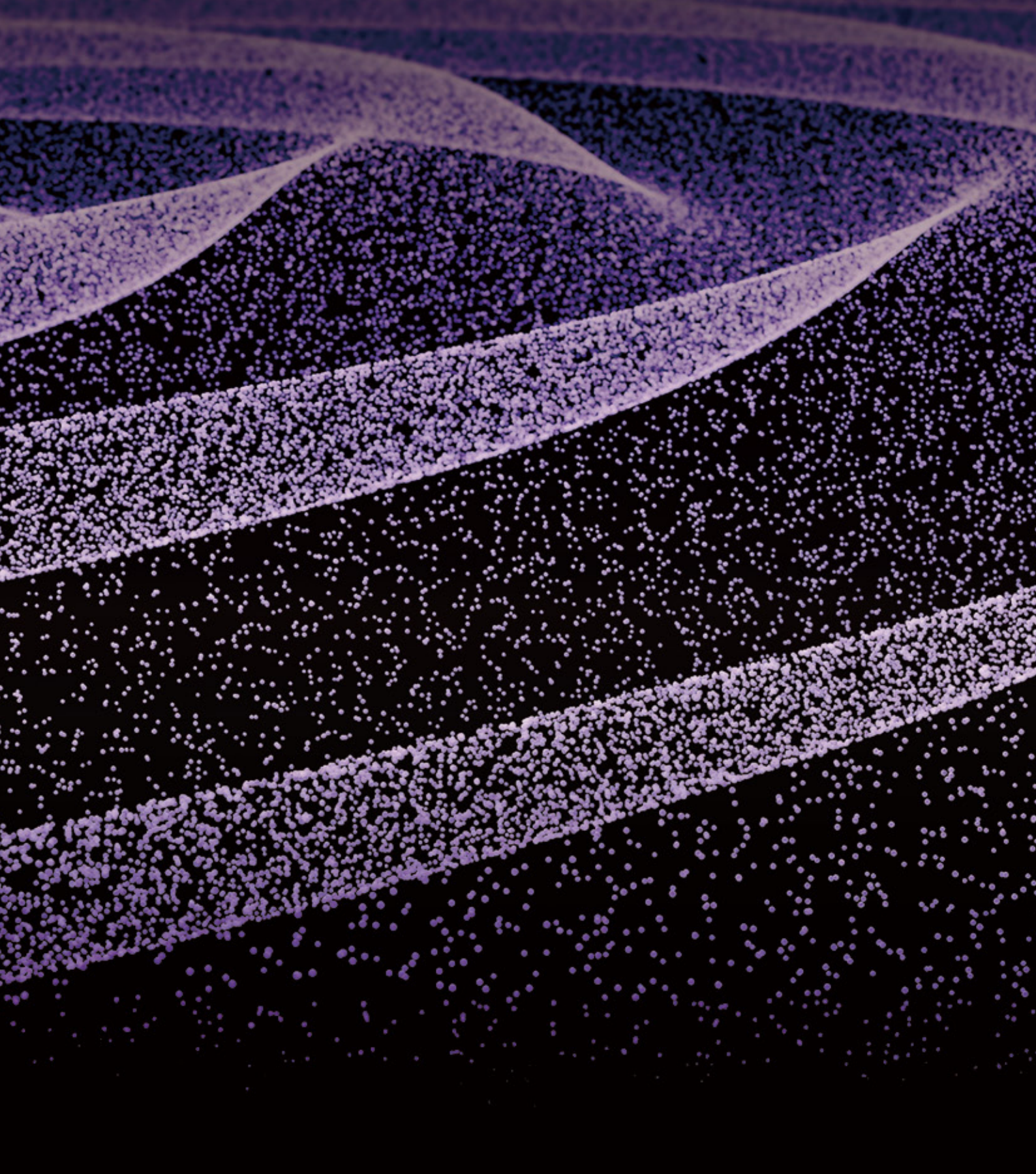
二次元コードよりご確認ください



ウェブサイト

<https://www.accenture.com/jp-ja>





アクセント株式会社 <https://www.accenture.com/jp-ja>

2026年9月版

Copyright © 2026 Accenture. All rights reserved. Accenture and its logo are registered trademarks.